

臨床検査基準値一覧

検査前管理手順 (添付15-検査案内-3院内項目一覧 第8版)より抜粋

2024年 3月1日版

変更内容

- 2022年8月1日 SAA基準値,単位変更(2022/3/17)
PIVKA II 測定法変更(2022/4/1測定法変更、基準値変更なし)
 α フェトプロテイン分画削除(2022/4/1より外部委託)
髄液・体液沈査削除(2022/4/30測定終了)
血小板粘着能削除(2022/5/31測定終了)
- 2023年6月1日 関節液検査(2022/4/1)
FilmArray髄膜炎・脳炎パネル(2022/12/1)
FilmArray呼吸器パネル(2022/12/1)
尿定性外観的(色調・濁度)検査追加(2022/12/28)
尿沈渣測定法変更(2022/12/28)
Ca測定法変更(2022/12/28)
CK-Mb測定法,単位変更(2022/12/28)
髄液細胞数基準値表記変更(2023/1/4)
亜鉛(Zn)(2023/1/4より院内導入)
アルカリフォスファターゼ小児基準値追加(2023/2/2)
葉酸,ビタミンB12(2023/4/1院内導入)
 β Dグルカン測定法変更(2023/4/5)
梅毒RPR定量検査(2023/5/1より院内導入)
- 2023年12月25日 サイトメガロウイルス核酸定量院内導入
- 2024年3月1日 末梢血液像(自動法-好中球)基準値訂正

公立大学法人横浜市立大学附属病院 臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

QP20検査前管理手順添付15-検査案内3から抜粋した基準値表を
臨床検査基準値一覧とし、2020年3月2日版を第1版とする。

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
インフルエンザウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	鼻腔ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
RSウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	鼻腔ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
アデノウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液、角結膜ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
A群β溶連菌抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
尿中肺炎球菌抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	尿	尿1.0mL	滅菌カップ [°] 滅菌スπι [°] ツツ	インセイ
尿中レジオネラ抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	尿	尿1.0mL	滅菌カップ [°] 滅菌スπι [°] ツツ	インセイ
C. デイフィシル毒素	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器、滅菌カップ [°]	インセイ
ロタウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器	インセイ
アデノウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器	インセイ
ピロリ抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	ヘリコバクター・ヒロリの便採取容器	インセイ
ノロウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器	インセイ
クリプトコッカス抗原	医生物検査室	逆受身ラテックス凝集反応	髄液	髄液1.0mL	滅菌スπι [°] ツツ	インセイ
細菌性髄膜炎抗原(肺炎球菌抗原)	医生物検査室	イムノクロマト法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スπι [°] ツツ	インセイ
細菌性髄膜炎抗原(ヘモフィルスb型抗原)	医生物検査室	ラテックス凝集法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スπι [°] ツツ	インセイ
マイコプラズマ抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
FilmArray髄膜炎・脳炎パネル	医生物検査室	マルチプレックスPCR	2024年 3月1日版	髄液0.5mL	滅菌スπι [°] ツツ	インセイ
FilmArray呼吸器パネル	医生物検査室	マルチプレックスPCR	鼻腔ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
精液	検体検査室(一般部門)	鏡検法	精液	特になし	滅菌シ [°] コップ [°]	精子数 ≥40×10 ⁶ /mL 精液量 ≥2.0mL 運動率… ≥50%
気管支肺胞洗浄液	検体検査室(一般部門)	遠心分離細胞数算定細胞分画測定	気管支肺胞洗浄液	BAL 2, 3全量	気管吸引用キット専用スπι [°] ツツ	マクロファージ 78.1~97.9% リンパ球 1.7~20.3% 好中球 0.0~2.3% 好酸球 <1% 好塩基球 <1%
尿-比重半定量	検体検査室(一般部門)	屈折率測定法	尿	尿10mL	尿カップ [°]	1.005~1.030
尿-pH半定量	検体検査室(一般部門)	pH指示薬法	尿	尿10mL	尿カップ [°]	pH4.5~7.5
尿-蛋白半定量	検体検査室(一般部門)	pH指示薬のタンパク誤差反応	尿	尿10mL	尿カップ [°]	—
尿-潜血反応	検体検査室(一般部門)	ヘモグロビン(Hb)のペルオキシダーゼ様作用	尿	尿10mL	尿カップ [°]	—
尿-白血球反応	検体検査室(一般部門)	白血球のエステラーゼ活性法	尿	尿10mL	尿カップ [°]	—
尿-亜硝酸塩反応	検体検査室(一般部門)	グリース反応	尿	尿10mL	尿カップ [°]	—
尿-糖半定量	検体検査室(一般部門)	酵素法 (GOD(グルコースオキシダーゼ), POD(ペルオキシダーゼ)法)	尿	尿10mL	尿カップ [°]	—

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
尿-アセトン体	検体検査室(一般部門)	アルカリニトロプルシド法	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-ビリルビン	検体検査室(一般部門)	アゾカップリング法	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-ウロビリノーゲン	検体検査室(一般部門)	アゾカップリング法	尿	尿10mL	尿カップ	±
尿-外観的(色調・濁度)検査	検体検査室(一般部門)	比色測定法	尿	尿10mL	尿カップ	該当なし
尿-沈渣	検体検査室(一般部門)	ア:フローサイトメトリー法 イ:鏡検法	尿	尿10mL	尿カップ	赤血球: ≤4個/HPF 白血球: ≤4個/HPF
尿-蛋白	検体検査室(一般部門)	ピロガロールレッド法	尿	尿1.0mL	尿カップ	20~120mg/day
μ-ALB	検体検査室(一般部門)	免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿カップ	5.7±2.6mg/日 蓄尿 ≤18.6mg/g・Cre
尿-Na	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	尿	尿1.0mL	尿カップ	1.6~5.8g/day(70-250mmol/day)
尿-K	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	尿	尿1.0mL	尿カップ	1~3.9g/day(25-100mmol/day)
尿-Cl	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	尿	尿1.0mL	尿カップ	2.5~8.9g/day(70-250mmol/day)
尿-Ca	検体検査室(一般部門)	ホスフォリパーゼD(PLD)酵素法	2024年3月1日	尿1.0mL	尿カップ	0.1~0.2g/day
尿-Mg	検体検査室(一般部門)	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ	0.02~0.16g/day
尿-無機リン	検体検査室(一般部門)	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ	0.5~1.0g/day
尿-尿素窒素	検体検査室(一般部門)	ウレアーゼGLDH法(アンモニア消去法)	尿	尿1.0mL	尿カップ	6.5~13.0g/day
尿-クレアチニン	検体検査室(一般部門)	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ	0.5~1.5g/day
尿-尿酸	検体検査室(一般部門)	ウリカーゼ-POD法(酵素法)	尿	尿1.0mL	尿カップ	0.4~0.8g/day
尿-グルコース	検体検査室(一般部門)	Gluco-DH-UV法	尿	尿1.0mL	尿カップ	40~85mg/day
尿-NAG	検体検査室(一般部門)	合成基質MPT-NAG法	尿	尿1.0mL	尿カップ	M:1.9~8.7 U/day F:1.3~4.5 U/day
尿-β ₂ マイクログロブリン	検体検査室(一般部門)	ラテックス凝集法	尿	尿1.0mL	尿カップ	11~253 μg/day
尿-アミラーゼ	検体検査室(一般部門)	JSCC標準化対応法(Et-G7-PNP法)	尿	尿1.0mL	尿カップ	<700 U/L
尿-ミオグロビン	検体検査室(一般部門)	ラテックス免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿カップ	該当なし
尿-浸透圧	検体検査室(一般部門)	過冷却氷点降下法	尿	尿1.0mL	尿カップ	50~1300mOsm/Kg・H2O
尿-IgG	検体検査室(一般部門)	免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿カップ	該当なし
尿中乱用薬物	検体検査室(一般部門)	金コロイド粒子免疫法	尿	尿1.0mL	尿カップ	インセイ
髄液-比重	検体検査室(一般部門)	屈折計法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	1.005~1.007
髄液-細胞数	検体検査室(一般部門)	鏡検法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	≤5/μL 主としてリンパ球
髄液-蛋白	検体検査室(一般部門)	ピロガロールレッド法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	10~40mg/dL
髄液μ-ALB	検体検査室(一般部門)	免疫比濁法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	100~300 μg/mL (10~30mg/dL)
髄液Ca	検体検査室(一般部門)	アルセナゾⅢを使用した化学反応法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	4.4~5.0mg/dL (1.10~1.25mmol/L)
髄液-β ₂ マイクログロブリン	検体検査室(一般部門)	ラテックス凝集法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
髄液-グルコース	検体検査室(一般部門)	Gluco-DH-UV法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	50~75mg/dL
髄液-N a	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	130~150mmol/L
髄液-K	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	2.5~3.5mmol/L
髄液-C l	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	120~125mmol/L
髄液-I g G	検体検査室(一般部門)	免疫比濁法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	1~3 mg/dL
髄液-ピルビン酸	検体検査室(一般部門)	酵素法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	0.63~0.77mg/dL
髄液-乳酸	検体検査室(一般部門)	酵素法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	13.7~20.5mg/dL (1.52~2.27mmol/L)
髄液-L D H	検体検査室(一般部門)	IFCC標準化対応法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	≤25 U/L
髄液-C E A	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
髄液-αフェトпротеイン	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
髄液-H I V A g / A b	検体検査室(一般部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	インセイ(S/CO:<1.00)
髄液-H T L V - I / II 抗体	検体検査室(一般部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	インセイ(S/CO:<1.00)
髄液-梅毒T P 抗体	検体検査室(一般部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	インセイ(S/CO:<1.00)
髄液-M T X	検体検査室(一般部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-比重	検体検査室(一般部門)	屈折計法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	ア浸出液: ≥1.018 イ濾出液: ≤1.015
体腔液-細胞数	検体検査室(一般部門)	鏡検法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	ア浸出液: ≥1000個/μL イ濾出液: ≤1000個/μL
白血球分画	検体検査室(一般部門)	鏡検法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 3.0mL	滅菌スピッツ	設定なし
体腔液-蛋白	検体検査室(一般部門)	ビウレット法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液アルブミン	検体検査室(一般部門)	BCP改良法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-グルコース	検体検査室(一般部門)	Gluco-DH-UV法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-N a	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-K	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C l	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-尿素窒素	検体検査室(一般部門)	ウレアーゼGLDH法(アンモニア消去法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-クレアチニン	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-尿酸	検体検査室(一般部門)	ウリカーゼ-POD法(酵素法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
体腔液-C a	検体検査室(一般部門)	ホスフォリパーゼD(PLD)酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-無機リン	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-R F	検体検査室(一般部門)	ラテックス凝集法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-L D H	検体検査室(一般部門)	IFCC標準化対応法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-A L P	検体検査室(一般部門)	IFCC標準化対応法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液アミラーゼ	検体検査室(一般部門)	JSCC標準化対応法(Et-G7-PNP法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C A 1 2 5	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C A 1 9 - 9	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C E A	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-A F P	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-総ビリルビン	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆渣	検体検査室(一般部門)	鏡検法	胆汁	胆汁3~5mL	滅菌スピッツ	少量の粘液、上皮細胞、1~2コ/μLの白血球
胆汁-N a	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-K	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-C l	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-C a	検体検査室(一般部門)	ホスフォリパーゼD(PLD)酵素法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-総ビリルビン	検体検査室(一般部門)	酵素法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-総コレステロール	検体検査室(一般部門)	酵素法	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-C E A	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	胆汁	胆汁 1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
便-ヘモグロビン	検体検査室(一般部門)	イムノクロマト	糞便:採便容器‘栄研’に便を採取		便ヘモグロビン	—
便-ポキール虫卵	検体検査室(一般部門)	セロファンテープ検肛法	肛門の周囲にいる虫卵を接着採取	2日間採取	ポキール	—
便-集卵法虫卵	検体検査室(一般部門)	ア集卵法・大島法 イ 浮遊法:硫酸亜鉛清心浮遊法	糞便	1.0g	滅菌シコップ	—
便-虫体検出	検体検査室(一般部門)	鏡検法	糞便	1.0g	滅菌シコップ	—
便-塗抹鏡検虫卵	検体検査室(一般部門)	薄層塗抹法	糞便	1.0g	滅菌シコップ	—
関節液検査	検体検査室(一般部門)	鏡検法	関節液	関節液 1.0mL	ヒアルロニダーゼ入り滅菌スピッツ	—

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
白血球数	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	$3.3 \sim 8.6 \times 10^3 / \mu L$
赤血球数	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M: $4.35 \sim 5.55 \times 10^6 / \mu L$ F: $3.86 \sim 4.92 \times 10^6 / \mu L$
ヘモグロビン濃度	検体検査室(血液部門)	シアンメトヘモグロビン法変法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M: $13.7 \sim 16.8 \text{g/dL}$ F: $11.6 \sim 14.8 \text{g/dL}$
ヘマトクリット	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M: $40.7 \sim 50.1\%$ F: $35.1 \sim 44.4\%$
MCV	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	$83.6 \sim 98.2 \text{fL}$
MCH	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	$27.5 \sim 33.2 \text{pg}$
MCHC	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	$31.7 \sim 35.3 \text{g/dL}$
赤血球分布幅(RDW)	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	$11.6 \sim 14.2\%$
血小板数	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	$158 \sim 348 \times 10^3 / \mu L$
平均血小板体積(MPV)	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	$8.0 \sim 11.2 \text{fL}$
網赤血球数	検体検査室(血液部門)	アニューメチレンブルー・VCSn法 イブレッカー法 (視算法)	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	網赤血球比率: $0.5 \sim 2.0\%$ 網赤血球数: $2.1 \sim 9.5 \times 10^4 / \mu L$ 幼若網赤血球分画: $0.22 \sim 0.42$
末梢血液像	検体検査室(血液部門)	アVCSn法 イ視算法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	自動法 好中球 : $39.6 \sim 69.7\%$ リンパ球 : $22.4 \sim 51.2\%$ 単球 : $2.7 \sim 7.0\%$ 好酸球 : $0.8 \sim 9.3\%$ 好塩基球 : $0.4 \sim 2.0\%$ 視算法 好中球総数 : $43.5 \sim 72.0\%$ 桿状核好中球 : $0.0 \sim 7.0\%$ 分葉核好中球 : $37.5 \sim 66.0\%$ リンパ球 : $19.5 \sim 47.0\%$ 単球 : $2.2 \sim 10.4\%$ 好酸球 : $0.0 \sim 6.0\%$ 好塩基球 : $0.0 \sim 1.8\%$ 異型リンパ球 : $0.0 \sim 1.4\%$ 自動法・視算法の絶対数 好中球 : $1.6 \sim 5.3 \times 10^3 / \mu L$ リンパ球 : $1.1 \sim 3.1 \times 10^3 / \mu L$
好酸球数	検体検査室(血液部門)	VCSn法または視算法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	$0.15 \sim 0.35 \times 10^3 / \mu L$
アルカリホスファターゼ染色(NAP)	検体検査室(血液部門)	朝長法変法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	陽性率(rate) $75 \sim 95\%$ 陽性指数(score) M: $212.2 \pm 37.2 (156 \sim 271)$ F: $254.1 \pm 38.2 (183 \sim 334)$
出血時間	検体検査室(血液部門)	DuKe法	該当無し		該当無し	$1 \sim 5 \text{min}$
APTT	検体検査室(血液部門)	凝固時間法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	$25.0 \sim 35.0 \text{sec}$
プロトロンビン時間	検体検査室(血液部門)	Quick1段法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	$0.87 \sim 1.15 \text{INR}$

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
フィブリノーゲン	検体検査室(血液部門)	トロンビン時間法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	186~385 mg/dL
可溶性フィブリン	検体検査室(血液部門)	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	≤7.0 μg/mL
FDP	検体検査室(血液部門)	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	<5.0 μg/mL
FDP-Dダイマー	検体検査室(血液部門)	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	≤0.7 μg/mL
アンチトロンビンⅢ	検体検査室(血液部門)	合成基質を用いた酵素化学的測定法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	78~125%
血小板凝集能	検体検査室(血液部門)	透光度法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 10mL	凝固検査管	ADPは最終濃度0.5~1.0 μmol/Lでは一次凝集、2.5~5.0 μmol/Lで二次凝集を認める。エピネフリンは0.2~2 μg/mL、リストセチンは1~1.2mg/mL、コラーゲンは最終濃度1~4 μg/mLで強い凝集を認める。適性濃度以上の血小板惹起物質を加えても凝集が生じないか、微弱な場合は血小板機能低下と診断され、低濃度または無添加で凝集が生じる(自然凝集)場合は血小板機能亢進と診断される。
赤血球沈降速度	検体検査室(血液部門)	Westergren法	血液(3.8%クエン酸加採血管)	血液 1.6mL	血沈管	M:2~10mm/hr F:3~15mm/hr
骨髓像	検体検査室(血液部門)	視算法	骨髓	骨髓液 0.5mL	ED-2K(マイクロテナー)	芽球を除く顆粒球系(計) 40.0~50.0% 骨髓芽球 0.4~1.0% 好酸球 1.0~5.0% 好塩基球 0.0~0.4% リンパ球 15.0~25.0% 単球 2.8~5.4% 赤芽球系(計) 14.0~25.0% 前赤芽球 0.0~0.4% その他の赤芽球系 14.0~25.0% M/E比 1.2~3.8
CD4陽性リンパ球	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	CD4陽性細胞(CD3+4+) 25.3~57.1%
CD8陽性リンパ球	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	CD8陽性細胞(CD3+8+) 17.6~46.0%
NK細胞	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	NK細胞(CD3-56+) 5.0~30.0%
T細胞	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	T細胞(CD3+) 47.4~80.8%
B細胞	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	B細胞(CD19+) 5.2~26.3%
CD34	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	PBSCH 骨髓・臍帯血	各1.0mL	2mL セラムチューブ	該当なし
骨髓有核細胞数	検体検査室(血液部門)	視算法	骨髓	適量	ED-2K(マイクロテナー)	10~25×10 ⁴ /μL

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
骨髄巨核球数	検体検査室(血液部門)	視算法	骨髄	適量	ED-2K(マイクロナ)	50~150/ μ L
クロスミキシング試験	検体検査室(血液部門)	凝固時間法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 3.6mL	凝固採血管	該当なし
血液型検査	輸血 細胞治療部	ビーズカラム遠心凝集法(CAT)または試験管法	抗凝固血(EDTA加血)	血液 2.0mL	血型採取管(EDTA-2K管)	該当なし
輸血検査 輸血前血液型不規則抗体交差適合試験	輸血 細胞治療部	ビーズカラム遠心凝集法(CAT)または試験管法	抗凝固血(EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	該当なし
間接クームス検査	輸血 細胞治療部	ビーズカラム遠心凝集(CAT)法	抗凝固血(EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	陰性
直接クームス検査	輸血 細胞治療部	試験管法	抗凝固血(EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	陰性
総蛋白	検体検査室(臨化免疫部門)	ビウレット法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	6.6~8.1 g/dL
アルブミン	検体検査室(臨化免疫部門)	BCP改良法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	4.1~5.1 g/dL
CRP	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	\leq 0.14 mg/dL
血清アミロイドA	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<3.0mg/L
尿素窒素	検体検査室(臨化免疫部門)	ウレアーゼGLDH法(アンモニア消去法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	8~20 mg/dL
クレアチニン	検体検査室(臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:0.65~1.07 mg/dL F:0.46~0.79 mg/dL
尿酸	検体検査室(臨化免疫部門)	ウリカーゼ-POD法(酵素法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:3.7~7.8 mg/dL F:2.6~5.5 mg/dL
アンモニア	検体検査室(臨化免疫部門)	酵素サイクリング法	血漿(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	アンモニア(EDTA-2K管)	12~66 μ g/dL
Na	検体検査室(臨化免疫部門)	イオン選択電極法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	138~145mmol/L
K	検体検査室(臨化免疫部門)	イオン選択電極法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	3.6~4.8 mmol/L
Cl	検体検査室(臨化免疫部門)	イオン選択電極法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	101~108 mmol/L
Ca	検体検査室(臨化免疫部門)	アルセナゾⅢを使用した化学反応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	8.8~10.1 mg/dL
Mg	検体検査室(臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	2.0~2.4 mg/dL
無機リン	検体検査室(臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	2.7~4.6 mg/dL
インスリン	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	1.84~12.2 μ U/mL
グルコース	検体検査室(臨化免疫部門)	GOD固定化酵素酸素電極法	血漿(フッ化Na管)	血液 2.0mL	フッ化Na管	73~109 mg/dL(空腹時)
ヘモグロビン-A1C(NGSP)	検体検査室(臨化免疫部門)	HPLC法	血液(フッ化Na管)	血液 2.0mL	フッ化Na管	4.9~6.0% (NGSP値) [4.3~5.8% (JDS値)]

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
クレアチンキナーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:59~248 U/L F:41~153 U/L
CK-MB	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫比 濁法(蛋白量測 定)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<5 ng/mL
AST (GOT)	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	13~30 U/L
ALT (GPT)	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:10~42 U/L F:7~23 U/L
乳酸脱水素酵素	検体検査室(臨 化免疫部門)	IFCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	124~222 U/L
アルカリフォスファ ターゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	IFCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	38~113 U/L 小児(0~20歳/男女別)の基 準値あり。
γ-GTP	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:13~64 U/L F:9~32 U/L
アルドラーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	2.2~4.7 U/L
コリンエステラーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法(p-ヒドロキ シベンゾイルコリ ン法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:240~486 U/L F:201~421 U/L
アミラーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法 (Et-G7-PNP法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	44~132 U/L
リパーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	合成基質比色法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	14~54 U/L
乳酸	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血漿(フッ化 Na管)	血液 2.0mL	乳酸 ^ビ ル管 (フッ化Na管)	4~16 mg/dL (0.44~1.78mmol/L)
ピルビン酸	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血漿(フッ化 Na管)	血液 2.0mL	乳酸 ^ビ ル管 (フッ化Na管)	0.3~0.9 mg/dL(文献値)
血清浸透圧	検体検査室(臨 化免疫部門)	過冷却氷点降下法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	275~290 mOsm/Kg・H2O
鉄	検体検査室(臨 化免疫部門)	Nitroso-PSAP直接 法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	40~188 μg/dL
ハプトグロビン	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	19~170 mg/dL
トランスフェリン	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:190~300 mg/dL F:200~340 mg/dL
β2-マイクログロブ リン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.80~2.00 μg/mL
ミオグロビン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫比 濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<70 ng/mL(2009年9月より)
フェリチン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:25~280 ng/mL F:10~120 ng/mL
総ビリルビン	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.4~1.5 mg/dL
直接ビリルビン	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.0~0.3 mg/dL
総コレステロール	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	142~248 mg/dL

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
中性脂肪	検体検査室(臨床免疫部門)	酵素法(グリセロール除去法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:40~234 mg/dL F:30~117 mg/dL
HDLコレステロール	検体検査室(臨床免疫部門)	選択的抑制法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:38~90 mg/dL F:48~103 mg/dL
LDLコレステロール	検体検査室(臨床免疫部門)	選択的可溶化法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	65~163 mg/dL
カルバマゼピン	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
フェノバルビタール	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法□	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
フェニトイン	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
バルプロ酸	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
ジゴキシン	検体検査室(臨床免疫部門)	イムノアッセイ法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
テオフィリン	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
バンコマイシン	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
メトトレキサート	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
シクロスポリン	検体検査室(臨床免疫部門)	酵素免疫測定法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	血中薬物ED-2K	該当なし
タクロリムス	検体検査室(臨床免疫部門)	酵素免疫測定法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	血中薬物ED-2K	該当なし
アルコール	検体検査室(臨床免疫部門)	酵素法(ADH-UV系)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<10mg/dL
高感度TSH	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.500~5.00 μIU/mL
遊離T3	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	2.3~4.0 pg/mL
遊離T4	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.90~1.70 ng/dL
BNP	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	EDTA血漿	血液 2.0mL	内分泌ED2K	≤18.4 pg/mL
IgG	検体検査室(臨床免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	861~1747 mg/dL
IgA	検体検査室(臨床免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	93~393 mg/dL
IgM	検体検査室(臨床免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:33~183 mg/dL F:50~269 mg/dL
IgE	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<300 IU/mL
C3	検体検査室(臨床免疫部門)	免疫比濁法	血清□	血液 1.0mL	フレイ管	73~138 mg/dL

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
C 4	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	11~31 mg/dL
CH 5 0	検体検査室(臨 化免疫部門)	Mayer法相対比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	30.0~46.0 U/mL
リウマチ因子(定 量)	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	≦15 IU/mL
MMP-3	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫比 濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:36.9~121.0 ng/mL F:17.3~59.7 ng/mL
CEA	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.6~3.8 ng/mL(2004/7/21よ り)
αフェトプロテイン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	1~7 ng/mL(2004/7/21より)
CA 1 2 5	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:6~19 U/mL(2004/7/21より) F:8~36 U/mL
CA 1 5 - 3	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<25 U/mL
CA 1 9 - 9	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:1~29 U/mL(2004/7/21より) F:1~37 U/mL
SCC抗原	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法(化学発光 免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	≦1.9 ng/mL
PSA	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	ア 加齢により上昇する。 40代:2.0、50代:3.0、 60代:4.0、70代:5.0、 80代:6.0ng/mL イ PSA値(タンデム):4ng/mL がカットオフ値
F-PSA	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
CYFRA	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	参考基準値:<2.8ng/mL カットオフ値:3.5ng/mL(肺 良性疾患を対象としたROC曲線 より算出)
β-Dグルカン	検体検査室(血 液部門)	発色合成基質法	血漿(ヘパリン Na入り滅菌 採血管)	血液 3.0mL	β-グルカン	<11.0pg/mL(カットオフ値)
梅毒RPR	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス凝集免 疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	定性・定量ともに インセイ(R.U.;<1.0)
梅毒TP抗体	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法(化学発光免 疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ(S/CO:<1.00)
HBs抗原	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法(化学発光免 疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ(<0.05IU/mL)
HBs抗体	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法(化学発光免 疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ(<10mIU/mL)
HBc抗体	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法(化学発光免 疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ(S/CO:<1.00)
HBe抗原	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法(化学発光免 疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ(S/CO:<1.00)

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
HB e 抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ(%Inh:<50)
HCV抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ(S/CO:<1.00)
HTLV-I/II抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ(S/CO:<1.00)
HIV Ag/Ab	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	インセイ(S/CO:<1.00)
HCV-RNA(定量)	検体検査室(臨床免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセス [®] :LogIU/mL
HIV-1RNA(定量)	検体検査室(臨床免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセス [®] :コピ [°] -/mL
HBV-DNA(定量)	検体検査室(臨床免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセス [®] :LogIU/mL ケンシュツセス [®] :Logコピ [°] -/mL
サイトメガロウイルス核酸定量	検体検査室(臨床免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセス [®] :IU/mL
KL-6	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<500U/mL(カットオフ値)
HCG	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	ア F(非妊婦): ≤ 3 mIU/mL イ F(閉経後): ≤ 6 mIU/mL ウ M: ≤ 2 mIU/mL
PIVKA II	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<40mAU/mL
ICG試験	検体検査室(臨床免疫部門)	生食法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	15分血中停滞率(R)0-10% 血中消失率(K)0.168~0.206 但し臨床検査部の結果値はmg/dLの濃度として表示されている。
トロポニンI	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	≤ 26.2 pg/mL
プロカルシトニン	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<0.05 ng/mL
テストステロン	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	M:1.31~8.71ng/mL F:0.11~0.47ng/mL(卵胞期、 排卵期、黄体期) 0.04~0.43ng/mL(閉経期)
トランスサイレチン	検体検査室(臨床免疫部門)	免疫比濁法(TIA)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	22~40 mg/dL
RBP(レチノール結合タンパク)	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	3.5~5.5 mg/dL
可溶性IL-2レセプター	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	145~519 U/mL
ACTH	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	EDTA血漿	血液 2.0mL	内分泌ED2K	7.2~63.3 pg/mL
Cペプチド	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	0.8~2.5 ng/mL
PTHインタクト	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	15~65 pg/mL

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
グリコアルブミン	検体検査室(臨床免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	11.0~16.0%
コルチゾール	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	EDTA血漿	血液 2.0mL	内分泌ED2K	7.1~19.6 $\mu\text{g/dL}$
TSHレセプター抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<2.0 IU/L
サイログロブリン	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	$\leq 33.7 \text{ ng/mL}$
MPO-ANCA	検体検査室(血液部門)	CLEIA法(化学発光酵素免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<3.5 U/mL
PR3-ANCA	検体検査室(血液部門)	CLEIA法(化学発光酵素免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	<3.5 U/mL
IgG4	検体検査室(臨床免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	11~121 mg/dL
リチウム	検体検査室(臨床免疫部門)	吸光光度法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	該当なし
IL-6	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	$\leq 7\text{pg/mL}$
亜鉛(Zn)	検体検査室(臨床免疫部門)	比色法	血清	血液 1.0mL	フレイ管	血清: 80~130 $\mu\text{g/dL}$ 尿中: 300~700 $\mu\text{g/day}$
葉酸	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	$\geq 3.1\text{ng/mL}$
ビタミンB12	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	フレイ管	187-883pg/mL